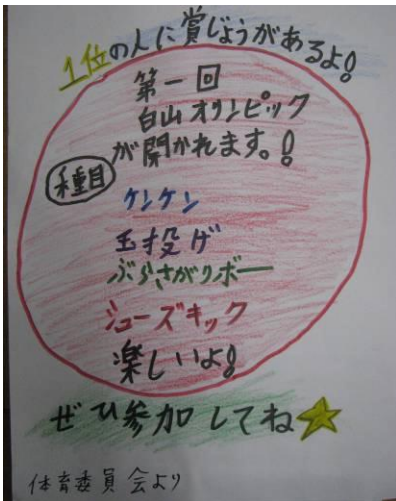


【内 容】 体育委員会の活動を生かした取り組み 「白山オリンピック」

1 「活動内容」



【だれもが参加できる種目】
 新体力テストで課題であった「投げる」「握る」ことを簡単なルールの種目にし、参加しやすくした。

【体育委員会が運営】
 計測などの運営を児童の自主的な活動にすることで、体力づくりへの意識も高まる。



2 児童・生徒（保護者）の反応

- 寒い季節でもたくさんの児童が参加し、昼休みに運動場へ出る機会となっている。
- その場で表彰式を行い、みんなの前で1位の児童に賞状を渡し、お互いのがんばりを認め合うことができている。

3 成果と課題

- ワンポイントアドバイスとして体育主任の出番をつくることで、体育主任が担任をしていない学年の児童に、投げ方や握り方のコツを教える機会ができた。
- 参加率は、一番多い時で、1年生96%、2年生36%、3年生55%、4年生32%、5年生44%、6年生35%と学年によってばらつきがある。特に、高学年になってくると、昼休みに委員会の活動やトランペット鼓隊の練習などがあり、参加しにくくなっている。
- 今年度初めての取り組みであるが、今後、種目を固定し、朝の活動で全員が取り組むなど、実施時間や方法を考えていく必要がある。